

一 般 質 問 通 告 書

発言順位（ 1 番 ）えびの市議会議員 大平落 哲郎

質 問 の 項 目	項 目 の 具 体 的 内 容 （ 項 目 に 沿 い 具 体 的 に 記 載 し て 下 さ い ）	答 弁 者
1.真幸地区に建設予定の大型風力発電所について	(1) 環境影響評価準備書の閲覧状況及び意見書並びに本事業に対する市長の見解を伺う。 (2) 本市は矢岳高原の観光振興にも取り組んでいるところである。今回の計画により、ベルトンオートキャンプ場等の運営にも多大な支障が生じることが懸念されるが、市長の見解を伺う。 (3) 今回の定例会に提出された請願2件について伺う。	市長、担当課長
2.本市の名誉市民黒木和雄氏の功績について	(1) 3月定例会において減額修正された、黒木和雄氏の功績を顕彰する「黒木和雄記念館(仮称)設置に伴う設計等委託料」について、閉会后にどのような協議・検討が行われているのか、また今後の方向性について伺う。 (2) 令和8年度えびの市教育施策に「有形・無形の文化財を適切に保護し、その活用を図ります。」と明記されているが、黒木家住宅の文化財保護及び活用の現状について、課題も含め、どのように評価しているのか伺う。	市長、教育長、担当課長
3.市長の政治姿勢について	(1) 市立病院について ①医師の確保について伺う。 ②地域医療連携推進法人設立の協議について伺う。 (2) 他自治体との連携について ①新小林市長とは協議・意見交換を行ったのか伺う。 ②自治体間農業連携首長協議会「コメサミット」について伺う。 (3) 観光情報等の発信を活用した関係人口の増加に向けた取り組みについて ①本市は、観光客が旅行先を決定する際に、YouTubeやSNSが与える影響についてどのように認識しているのか伺う。 ②「道の駅えびの」等を活用した動画発信やSNS発信について、現在どのような取り組みを行っているのか伺う。 ③今後、「道の駅えびの」等を本市観光の情報発信拠点として、どのように機能強化していく考えか伺う。	市長、担当課長

一 般 質 問 通 告 書

発言順位（ 2 番 ）えびの市議会議員 増田 輝

質 問 の 項 目	項 目 の 具 体 的 内 容 （ 項 目 に 沿 い 具 体 的 に 記 載 し て 下 さ い ）	答 弁 者
1.放課後児童クラブについて	(1) 現在の児童クラブの制度について伺う。 (2) 現在えびの市における放課後児童クラブの利用状況を伺う。 (3) 出産後の預け入れの利用可能期間はどれくらいか伺う。 (4) 出産後の預入期間についてももう少し柔軟に対応できないか伺う。	担当課長
2.高齢者へのタクシーチケットについて	(1) 現在のえびの市のタクシーチケット利用の対象者の条件を伺う。 (2) 現在のえびの市のタクシーチケット利用者はどれくらいいるのか伺う。 (3) 現在のタクシーチケットの利用状況を伺う。 (4) 現在の月8枚のタクシーチケットの増額が出来ないか伺う。	市長、担当課長

一 般 質 問 通 告 書

発言順位（ 3 番 ）えびの市議会議員 戒谷 暁

質 問 の 項 目	項 目 の 具 体 的 内 容 （ 項 目 に 沿 い 具 体 的 に 記 載 し て 下 さ い ）	答 弁 者
1.ふるさと納税の取り組みについて	(1) 令和8年度のふるさと寄付金の目標額到達に向けての取り組み状況について伺う。 (2) 企業版ふるさと納税の推進状況について伺う。 (3) 現地決済型や対面型のふるさと納税の導入検討が出来ないか伺う。 (4) クラウドファンディング型ふるさと納税の導入検討が出来ないか伺う。	市長、担当課長
2.地域医療の在り方について	(1) 総合計画に記載の市の取組に対する満足度調査において、令和2年度の調査時には「地域医療体制の整備」という項目であったものが、令和7年度調査時には「市立病院の充実」と変更された理由について伺う。 (2) 令和2年度調査時の地域医療に対する満足度が低い理由についてどのように考えているか伺う。 (3) 本市が目指す地域医療体制はどのようなものか伺う。 (4) 市内外問わず、地域医療体制を整備する上で連携すべき方々からの意見の吸い上げをどのように行っているのか伺う。 (5) 地域医療における市立病院の役割について伺う。 (6) 令和7年度調査時の「市立病院の充実」に対する満足度が低い理由をどのように考えているか伺う。 (7) 市立病院利用者に対するアンケート調査を実施できないか伺う。	市長、担当課長
3.子育て政策について	(1) 教育・保育施設管理運営事業費の総額は944,777千円で、施設利用児童一人当たり290万円と非常に高額だが、適正水準だと認識されているのか伺う。 (2) 上記事業費を施設利用者に対する補助と捉えた場合、施設を利用する児童としない児童の家庭に対する補助額に大きな乖離があると言えるが、その点をどのように認識しているか伺う。 (3) 施設運営事業費のうち、ふるさと基金繰入金と一般財源を合わせた約270,000千円を施設を利用しない家庭への補助として使うことは検討できないか伺う。	市長、担当課長

一 般 質 問 通 告 書

発言順位（ 4 番 ）えびの市議会議員 川野 亮

質 問 の 項 目	項 目 の 具 体 的 内 容 （ 項 目 に 沿 い 具 体 的 に 記 載 し て 下 さ い ）	答 弁 者
1.えびの市活性化プランについて	<p>(1) えびの市の活性化について提言する</p> <p>①移住定住について</p> <p>（ア）定住促進住宅入居者の現状を伺う</p> <p>（イ）現在の改装済部屋の状況及び今後の改装計画を伺う</p> <p>（ウ）働き世代の移住定住者や新婚世帯向けの新基準（1～2年程度無償化）を設けてみてはどうか</p> <p>②観光列車について</p> <p>（ア）JR肥薩線の現状、今後の運行について伺う</p> <p>（イ）復旧・復興できる間まで、観光列車の運行を検討出来ないか伺う</p> <p>（ウ）復旧・復興できる間まで、レールメンテナンスの検討が出来ないか伺う</p> <p>③矢岳高原を映えスポットに</p> <p>（ア）展望台の現状、今後について伺う</p> <p>（イ）最高の景観が展望できる矢岳高原に天空ブランコを検討してみてはどうか伺う</p> <p>④えびの市の農畜産物で日本一を目指して</p> <p>（ア）えびの米を使ったソーメンで産地化の検討が出来ないか伺う</p> <p>（イ）特大イベントとして、えびの市全体の竹林を使い矢岳高原からソーメン流しで日本一（ギネス新記録）を目指してえびの市の名、またえびの市の農畜産物を日本中また世界に発信できると考えるが検討出来ないか伺う</p> <p>⑤ふるさと納税について</p> <p>（ア）ふるさと納税額の現状を伺う</p> <p>（イ）食肉加工できる企業を誘致出来ないか伺う</p> <p>（ウ）えびの市ならではのもつ鍋セット商品化はどうか伺う</p> <p>⑥道の駅えびののにガチャガチャ設置について</p> <p>（ア）「肉ガチャ」や「もつ鍋セットガチャ」の検討について伺う</p> <p>⑦えびの市の発信力強化について</p> <p>（ア）有名インフルエンサーとの連携をすべきではないか</p>	市長、副市長、教育長、担当課長

質問の項目	項目の具体的内容（項目に沿い具体的に記載して下さい）	答弁者
2.職員削減の背景と影響及び今後の方針について	<p>⑧今回の提言については、真幸中学校令和7年度卒業生の提言を含んでいるが、この件について見解を伺う</p> <p>(1) ①令和8年度より実施された会計年度任用職員削減の実態について伺う ②削減されたそれぞれの課の業務への影響を伺う ③今後の職員数削減に関する方針について伺う</p>	市長、教育長、担当課長

質問の項目	項目の具体的内容（項目に沿い具体的に記載して下さい）	答弁者
4.業務改善について	(1) 業務改善の推進にあたり、市長としてどのような方針や指示を出しているのか伺う。 (2) 他の市町村で、えびの市の参考になる業務改善の例はないか伺う。 (3) 会計年度任用職員32人の削減後、正職員の時間外勤務(残業時間)にどのような変化が生じているのか伺う。 (4) 業務改善における今後の方向性と、職員の負担軽減に向けた対応について伺う。	市長、副市長、担当課長
5.ふるさと納税について	(1) ふるさと納税業務に関連して、市職員のえびの市地域商社への出向は、いつまで継続する予定であるのか伺う。	市長、担当課長

一 般 質 問 通 告 書

発言順位（ 6 番 ）えびの市議会議員 松窪 ミツエ

質 問 の 項 目	項 目 の 具 体 的 内 容 （ 項 目 に 沿 い 具 体 的 に 記 載 し て 下 さ い ）	答 弁 者
1. 公用車の運用管理体制について	<p>近年、全国的にマイクロバスを含む多人数乗りの車両による重大事故が相次いで報じられており、本市においても、学校の教育活動や社会教育研修、各種イベントや市民団体、自治会研修活動などでマイクロバスが使われているが、その運用管理体制の現在の状況について伺う。</p> <p>(1) マイクロバス・市有バスの運用管理体制について</p> <p>①市有バスの年間使用回数、乗車人数、地域外運行先の範囲について伺う。</p> <p>②事故防止の安全装備と車両管理について伺う。</p> <p>③安全運転管理体制について伺う。</p> <p>④車両の整備・運用・設備について伺う。</p> <p>⑤事故発生時の対応と再発防止について伺う。</p>	市長、担当課長
2. 施政方針について	<p>(1) 15項目【市民協働・多文化共生】の協働のまちづくりについて(施政方針p9～10)</p> <p>多文化共生に向けては、市内に住む外国人が地域社会の一員として安心して生活できる環境づくりに努めるとともに、市民との交流を深める取組を進めるとあり、また市の最上位計画である「えびの市総合計画」の中の施策方針として多文化共生への取組が位置づけられている。市長の基本的な見解と具体的な施策を伺う。</p> <p>①専門的な相談に対応できる窓口の設置について伺う。</p> <p>②言葉や習慣の違いにより、外国人住民が地域行事(防災訓練や清掃活動など)に参加しづらい課題に対し、市としてどう橋渡しをするか伺う。</p> <p>③日本語指導教室の充実や、医療機関での受診サポート体制の構築について伺う。</p> <p>④「生活ガイドブック」の作成事業等についてはどのような見解か伺う。</p> <p>⑤技能実習、特定技能、人文知識、国際業務など、雇用を前提とする在留資格で就労した外国人について、厚生年金への加入状況及び就労終了後の国民年金への切り替え状況や未加入の状況はどうなっているのか伺う。</p>	市長、担当課長

一 般 質 問 通 告 書

発言順位（ 7 番 ）えびの市議会議員 末原 由美子

質 問 の 項 目	項 目 の 具 体 的 内 容 （ 項 目 に 沿 い 具 体 的 に 記 載 し て 下 さ い ）	答 弁 者
1.障がい者福祉について	(1) 発達障がい、学習障がいを持つ方が直面する、「今、いちばん困っていること」の支援事業所への相談は、個人差があるが、主にどのような相談があるか伺う。 (2) 自閉症(ASD)、注意欠如・多動症(ADHD)、学習障がい(LD)のある方で、現在障がい者手帳の交付を受けている人数を伺う。 (3) 障がい者手帳の交付の有無により、医療費や優遇措置に違いがあるか伺う。 (4) 近年、保険機関の基準変更に伴い、発達障がいと言う病名が「神経発達症」と呼ばれ、グレーゾーンの人達が成人後受診し、9割以上の方がASD、ADHD、LDと診断されている。成人後の相談などはないか伺う。 (5) 大人の発達障がいの検査や診断は「精神科」、「心療内科」などが良いと言われているが、市の相談窓口でも専門機関などを紹介しているか伺う。 (6) 発達障がいへの社会的な理解が深まる中、教育現場での対応が重要になっている。先天性の脳の特性を踏まえ、市内小中学校では、現在どのような理解や支援の取り組みを行っているのか。具体的な対応の現状について伺う。	市長、教育長、担当課長
2.拠点校部活動について	(1) 拠点校部活動を実施されているが、どの学校で何の部活動をしているのか伺う。 (2) 拠点校部活動をする場合、当然送迎をする事になるが、共働きの家庭やひとり親世帯など、さまざまな家庭環境があり、複数の部員であれば、交代制で協力しあえるが、部員がひとりの場合は、かなりの負担になる。その結果、自分の好きな部活動を諦める生徒もいるのではと懸念される。もちろん自分の子供は、自分達で対応するということだが、市としての対応はどの様に考えているか伺う。 (3) 昨年、試行的に9月の西諸秋季大会、10月の宮崎県秋季大会と市のバスを使い送迎されたが、今年度も対応するのか伺う。	市長、教育長、担当課長
3.修学旅行について	(1) 物価高騰に伴い、旅費なども高くなり、小遣いを合わせると約10万円ほどと聞いている。少人数の学校では、バス代を人数割にすると負担が大きいと聞いている。バス代等の助成はないのか伺う。	市長、教育長、担当課長

質問の項目	項目の具体的内容（項目に沿い具体的に記載して下さい）	答弁者
4.えびのインター産業団地について	(1) 最新の分譲状況について伺う。 (2) 現在操業されている企業で、えびの市民の限定採用枠があるか伺う。 (3) 隣接する小林市、湧水町、人吉市から通勤している人が、令和元年から5年までの雇用人数の146人に含まれている様だが、将来的にえびの市に移住してもらえるような対策などの考えはないか伺う。	市長、担当課長

一 般 質 問 通 告 書

発言順位（ 8 番 ）えびの市議会議員 田口 正英

質 問 の 項 目	項 目 の 具 体 的 内 容 （ 項 目 に 沿 い 具 体 的 に 記 載 し て 下 さ い ）	答 弁 者
1.農業の振興策について	(1) 食料安全保障の強化の一環で米は勿論、米以外に小麦・大豆等の生産拡大を強化し、自給率の向上を目指し、農業経営を支える必要があるが、どのように指導及び対策をしていくのか示せ。 (2) 耕作放棄地・荒廃農地の現状と今後の対応について伺う。 (3) 農地中間管理機構(農地バンク)の活用で、耕作放棄地・荒廃農地の問題は解決できるか伺う。 (4) 耕作放棄地の解消・再生は重要な課題だが、対策はあるのか示せ。	市長、担当課長、農業委員会事務局
2.買物困難・弱者について	(1) 近年、食料品店の減少等に伴い、高齢者を中心に食料品の購入や飲食に不便や苦勞を感じている住民が増えてきており、食料品の円滑な供給に支障が生じる等、「食品アクセス問題」が顕在化している事をどのように考えるか伺う。 (2) 地域の現状を把握するための調査を実施する考えはないか。(アンケート調査等の内容確認を含む) (3) 公共団体や民間事業者・地域住民のネットワーク等による継続的な取り組みについて伺う。 (4) 移動販売車の進捗状況を示せ。	市長、担当課長

一 般 質 問 通 告 書

発言順位（ 9 番 ）えびの市議会議員 小宮 寧子

質 問 の 項 目	項 目 の 具 体 的 内 容 （ 項 目 に 沿 い 具 体 的 に 記 載 し て 下 さ い ）	答 弁 者
1.平和教育について	<p>(1) 昨年、戦後80年の節目を迎えたが、被爆者や戦争体験者も高齢化し、語り部も少なくなっている。戦争の記憶が薄れゆく中、本市の小・中学校における平和教育の取り組みについて伺う。</p> <p>①平和教育は学習指導要領ではどのように示されているか伺う。</p> <p>②本市の小中学校では、授業や修学旅行などで平和教育についてどのように取り組んでいるのか伺う。</p> <p>③外部講師を呼んで戦争体験の話を聴くなどの出前授業などは実施されているのか伺う。</p> <p>④平和教育の充実に向けた取り組みの考えはあるか伺う。</p>	市長、教育長、担当課長
2.ひきこもりについて	<p>(1) ①本市のひきこもりの現状をどのように捉えているか伺う。</p> <p>②ひきこもりの状態にある人の実態把握はどのように行っているか。どこまで把握できているか伺う。</p> <p>③不登校をきっかけにひきこもりになるケースもある。本市の不登校の現状と支援体制について伺う。</p> <p>④精神疾患や発達障害など障がいのある人や、8050問題のように中高年世代のひきこもりは、本人も家族も周囲に相談しづらく、ひきこもりの状態が長期化することが多い。本市の現状と支援体制について伺う。</p> <p>⑤本市においては、相談窓口や居場所づくり、また専門知識を持つ職員の不足など、支援体制が他市に比べて弱いと感じるが、市はどのように捉えているか伺う。</p> <p>⑥年齢や障害の有無など関係なく安心して相談できる場所や自分らしくいられる居場所づくりが大切だと考える。地域活動支援センター I 型のような施設の必要性について市の考えを伺う。</p> <p>⑦地域全体で見守り支えあっていくには、市民一人ひとりがひきこもりに対する理解が必要である。市民へのひきこもりの理解や啓発はどのように取り組むのか伺う。</p>	市長、教育長、担当課長

質問の項目	項目の具体的内容（項目に沿って具体的に記載して下さい）	答弁者
3.市内婦人科の閉院について	<p>(1) ①えびの市唯一の婦人科が6月をもって閉院することになり、市民から困惑の声が上がっている。本市としてはこの状況をどのように受け止めているか伺う。</p> <p>②市長のマニフェストには「産婦人科の早急な再始動」を掲げているが、実現に向け現在どのように取り組まれているのか伺う。</p> <p>③小林市も新市長が就任され、西諸の2市1町の首長は新しい体制となったが、小林市、高原町の首長とは西諸地域の医療体制について協議はなされているのか伺う。</p>	市長、担当課長
4.帯状疱疹ワクチン接種について	<p>(1) ①帯状疱疹ワクチンの定期接種が2025年4月から開始されている。本市の接種状況はどのようになっているか。接種率について伺う。</p> <p>②公費での接種は生涯で1回限りであるが、認識不足の人も多い。対象者へのワクチン接種の効果や周知はどのように行っているか伺う。</p> <p>③他自治体では、年齢が50歳以上で、定期接種の対象に当てはまらない人に対してワクチン接種費用の一部助成など、自治体独自の助成を行っているところもある。本市の接種費助成の考えを伺う。</p>	市長、担当課長